

BACCALAURÉAT GÉNÉRAL ET TECHNOLOGIQUE

Session 2009

JAPONAIS

LANGUE VIVANTE 2

Série STG (sauf CGRH) : 2 heures – coefficient 2
Série STG option CGRH : 2 heures – coefficient 3

Le candidat choisira le questionnaire correspondant à sa série.

L'usage du dictionnaire et des calculatrices est interdit.

Répartition des points	
Compréhension	10
Expression	10

日本のカレンダー

カレンダーは1月から始まって12月に終わるけれども、日本の学校が4月から始まって3月に終わるのはなぜですか？

これはなかなか気づかないけれども、いい質問ですね。まず、カレンダーの話からしましょう。昔、西洋¹では今の3月21日を1年の始めとした国が多く、カレンダーと季節は一致²していたのですよ。このカレンダーなら、新学期の始まりも1年の始まりも同じだから問題はありませんよね。ところが、紀元前³46年、ローマ帝国⁴初代皇帝⁵のジュリアス・シーザーが政治的⁶に一年の始まりを1月にしました。今、使われているカレンダーは、このシーザーのカレンダーがもとになって⁷いるので、季節とカレンダーはそれからずっとずれた⁸ままなんです。

さて、次は学校の新学期の話をしましょう。日本の教育システムは明治時代に決められて、その時に参考にした⁹のが、アメリカとフランスの教育システムだったのです。どちらの国も新学期¹⁰は9月から始まるのです。

もちろん日本も同じで、小学・中学・高校・大学の新学期が9月からで、士官¹¹学校などの軍¹²関係の学校だけは次の年の4月からとなっていたのです。ところが、優れている学生のほとんどが9月から始まる普通の学校に入学し、次の年の4月に入学する士官学校などの学生の数が少なくなってしまったのです。そこで困った軍部¹³が、圧力¹⁴をかけ、新学期の始まりを9月から4月に変えたのです。西洋で9月に学校が始まるようになったのは、昔の子供たちは春から夏の間は農作業¹⁵などを手伝い、秋から冬にかけて学校に通つことから来ているらしいですよ。日本も西洋も、社会的な理由によって決められたようです。

¹ 西洋 : occident

² 一致 : être d'accord, s'accorder, correspondre à, coïncider

³ 紀元前 : avant J-C

⁴ ローマ帝国 : empire romain

⁵ 初代皇帝 : premier empereur

⁶ 政治的 : pour des raisons politiques

⁷ もとになる : être basé sur

⁸ ずれる : diverger, s'écartez de

⁹ 参考にする : se référer à, se reporter à

¹⁰ 新学期 : nouvelle année scolaire

¹¹ 士官 : officier

¹² 軍 : armée

¹³ 軍部 : autorités militaires

¹⁴ 圧力 : poussée, pression

¹⁵ 農作業 : travaux agricoles

**Travail à faire par les candidats de la série :
STG - Langue vivante 2**

COMPRÉHENSION

次の質問に日本語で答えてください。

1. どうして昔は、さまざまな国では、3月21日は年の始まりになっていましたか
2. 昔、西洋では年の始まりが四月ごろから1月に変わったことはなぜですか。
3. 今の西洋の新学期と日本の新学期はどう違いますか。
4. 西洋で9月に学校が始まるようになった理由をあげてください。

EXPRESSION

Traitez, en 100 signes environ, chacun des deux sujets (200 signes au total).

1. 学校の新学期を9月に始めることと4月に始めることどちらがいいですか。あなたの考えを書いてください。
2. 「昔の子どもたちは春から夏の間は農作業などを手伝いました」が、今の子どもたちの夏休みはどうですか、みんなはバカンスに行きますか。